

2023年3月14日改定

(2020年8月31日発行)

紀尾井ホール・ステージマネジャー

紀尾井ホールコロナウイルス感染症対策ステージガイドライン

感染防止のためこのステージガイドラインを守るとともにホール内での「3密」を避けてください。

ご入館にあたって

- ・原則として、ホール内ではマスク(不織布マスク推奨)で鼻と口をしっかりと覆い、正しく着用をすることを推奨します。
- ・小さな節目ごとの手指消毒・丁寧な手洗いにご協力ください。
- ・平熱と比べて1度程度以上の高い熱があるなど、風邪諸症状・体調不良等のある場合は、ご入館をお控えください。
- ・楽屋、舞台袖などでは十分な距離を保つようご協力ください。
- ・公演中又はリハーサル中に感染が疑われる人が出た場合、ホールと連携を図り、以下のように、適切に対応できるように心掛けてください。
 - (1) 自力で帰宅できる状態であれば、すみやかに帰宅させてください。
 - (2) 自力で帰宅できない容態であれば体調不良者に適切なマスクを正しく着用させ、速やかに別室へ案内し、救急車を手配してください。ただし呼吸困難の場合にはマスク着用をさせないでください。
 - (3) 対応するスタッフは、マスクや手袋を着用のうえ対応する他、求めに応じて保健所からの聞き取り等に協力してください。

ステージ上の基本方針

ステージ上の感染対策は以下を基本方針としています。確実に実施してください。

演奏者の距離	各公演形態での演奏者間の距離は以下のA、Bにより検討してください。 奏者・歌手間の距離(客席との距離は含まない)に関して、感染予防の観点から好ましい距離を提案していますが、芸術表現上の観点から感染リスクを受容しこれらの提案よりも縮めることについては各団体でご判断のうえ、ホールにご相談ください。ホールのスタッフに感染リスクがありホール側が受容できないと考える場合には、判断の変更をお願いすることがあります。
A 鍵盤楽器、管弦打楽器	(ソロやデュオ～室内楽、吹奏楽、オーケストラについても含む) ① 舞台前方で客席に向かいトランペット・トロンボーンを吹奏する場合は、演奏位置から客席最前列まで水平距離で2m程度(最低でも1m)の距離を置くよう努めてください。 ② 大規模編成の吹奏楽、オーケストラ等の場合は以下の点に留意してください。 <ul style="list-style-type: none">・舞台上の換気の確保についてはより一層留意してください。・トランペット・トロンボーンは前方の演奏者との距離を最低でも1m確保するよう努めてください。

B 声楽、合唱、オペラ	<p>① 歌手のアクティングエリアから客席最前列まで水平距離で 2 m 程度(最低でも 1 m)の距離を置くよう努めてください。</p> <p>② 合唱が出演する公演では、歌手の間が最低でも 1 m の市松模様状となるよう努めてください。</p> <p>③ オペラ等の大規模公演については、上記の対策に加え演出上の工夫をする等、複数の手法を組み合わせる総合的な感染対策を講じてください。</p> <p>④ 声楽及び合唱に伴う飛沫の飛散は、舞台上の換気の状態や湿度・温度等によりリスクが高まる可能性があることを十分に認識し、総合的な対策を講ずるよう努めてください。</p>
管楽器の演奏にあたって	管楽器の結露は床に直接落とさず布、紙など(吸水シート推奨)に吸収させ演奏者自らが適切に消毒しビニール袋に入れ密閉してお持ち帰りください。
必要に応じて主催者側で ご用意いただくもの	適切なマスク(不織布マスクを推奨)、消毒用品、 管楽器などの結露対策用品(吸水シートなど)。

*プロ団体、音楽事務所の主催公演では、それぞれ独自の研究に基づき考案・実証した感染拡大防止対策が提案されていますが、ホームページなどで十分に社会的周知や告知が行われているかなどを総合的に判断し、また、他団体の状況に照らして、対策の再考をお願いする場合があります。ホール側の基本方針と明らかな相違がみられる場合は、協議の上、修正を求めることがあります。

*アマチュア団体の場合も、プロ団体が作成したガイドラインを参考に感染症防止対策を講じてください。ただしホール側へは適宜ご相談ください。基本方針の順守を公演条件といたします。

*出演者用のケータリングサービスは、当面ミネラルウォーターのみ提供しています。

公演ステージスタッフについて

音響・照明・舞台・収録・撮影・配信・取材など、すべてのスタッフを対象とします。

備品・楽器の取扱い	仕込み、リハーサル、本番、片付け等でホール備品に触れる際は、 <u>作業前後で必ず手指の消毒を行ってください</u> 。持込みの楽器・備品については各演奏団体の方針を尊重します。
消毒作業	消毒に際し、塗装面の損傷の危険があるためホール備品には直接アルコール等を噴霧しないでください。消毒の際は必ず事前にホール側に相談してください。基本は利用者の手指の消毒での対応をお願いします。
作業員間の距離	作業にあたっては、作業員間に十分な距離を確保してください。

バックステージでの留意点

楽屋	楽屋は使用者間で十分な距離を確保してください。 (参考) 各楽屋の定員 1・2・3楽屋：各2名 4楽屋：20名 5楽屋：10名 6楽屋：40名 定員によらず、同時に多くの人が同一の場所を利用することが無いように、使用人数全体を抑えたり、使用に際して時間差を取ったりするなどの対応を行い、密になることを避けてください。できるだけ窓やドアを開け、一層の換気を行ってください。空気清浄機を設置していますので、あわせてご利用ください。
消毒	演奏前後、必要に応じてこまめに手指の消毒を行ってください。
飲食	十分な距離を確保し、事前に手指の消毒や丁寧な手洗いを行ってください。楽屋だけでなく、舞台袖もご利用いただけます。会話がある場合はマスクの着用を推奨します。

このガイドライン・基本方針は、情勢などを踏まえ、適宜改定します。

公演打合せ後に改定した場合には、その都度お知らせしますので、最新のガイドライン・基本方針を順守してください。

詳しくはホールスタッフにご相談ください。

以 上